

基本支援

■2020年度の主な利用数値

- 登録団体：319団体（新規登録13団体、解散5団体）
- 入館者数：21,768人（月平均1,814人）〔昨年度対比：103.6%〕
※新型コロナウイルス拡散防止のため4/13～5/17まで閉館
- 相談数：591件〔昨年度対比：109.9%〕
- 問い合わせ数：78件〔昨年度対比：47.6%〕
- 会議室利用：252件〔昨年度対比：98.1%〕
- 持ち込みイベント：75日〔昨年度対比：87.2%〕
（17団体が60のイベントを実施）
- 機材貸出し：146件〔昨年度対比：82.5%〕
- ホームページアクセス数：33,586件〔昨年度対比：157.3%〕
- 登録団体記事数：1,460件〔昨年度対比：114.6%〕

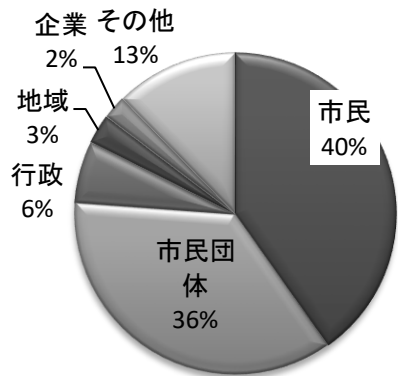


団体持ち込みイベント

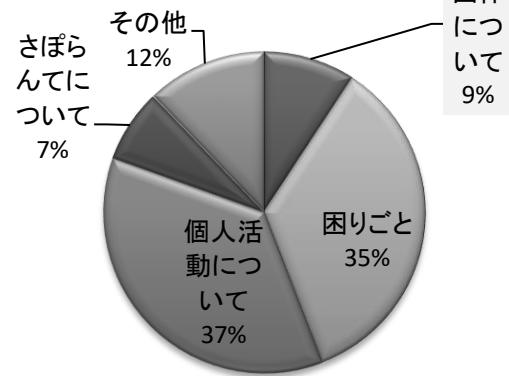
■相談

相談総数は、昨年より4割増。これまで半数近くを市民からの相談が占めていたが、コロナの影響による市民生活の困りごとの深刻化、それに伴う活動展開にむけた団体からの相談の増加が見られた。また、行政や他中間支援センター等と、情報共有等、相談・連携がこれまで以上に図られた。団体からの相談は昨年度の2倍超。感染対策でオンライン導入に関する相談やサポート要請の他、補助金申請等による運営面での相談が増。Kintone（情報共有システム）導入も進み、勉強会、個別サポート等での伴走支援が求められた。市民からの相談のうち、寄付やボランティア、団体立ち上げ等の個人活動に関する相談と困りごとに関する相談が多く7割にのぼる。困りごとの中では、猫に関する相談が急増。新規団体による譲渡会再開の影響が大きい。コロナ禍における生活上の不安感を抱える市民からの相談も見られた。

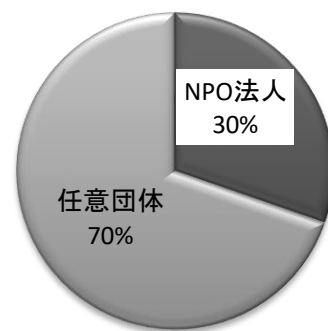
対象別相談等の件数



市民からの相談内訳



団体分類



以上、昨年度の山口市民活動支援センターさぽらんての簡単な事業報告です。事業報告詳細については、さぽらんてホームページより閲覧可能です。また、各事業の内容はホームページの講座レポートに掲載していますのでこちらもご覧ください。

【センター長就任のご挨拶】

平素より、市民活動支援センターさぽらんて業務におきまして、ご理解、ご協力感謝申し上げます。令和3年4月1日より、市民活動支援センターさぽらんてのセンター長に就任しました見玉です。どうぞよろしくお願いいたします。これまでの職場を退職し、第2の人生は公私ともに“市民活動”漬けの日々となります。今後とも気軽に声をかけて頂き、市民活動に寄り添える相談場所としてご活用ください。

センター長 見玉 頼幸



〒753-0047
 山口市道場門前2-3-6どうもんビル1F
 Tel : 083-901-1166
 Fax : 083-901-1165
 E-mail : info@saporant.jp
 URL : https://www.saporant.jp/

山口市民活動支援センター
さぽらんて
 【2020事業報告ダイジェスト版】
 令和3（2021）年6月発行

2020年度のさぽらんて事業報告

Withコロナの中での支援…

昨年度は、新型コロナウイルス感染の第二波、第三波の脅威の中での1年でした。これまでの暮らしから一変し、マスク生活が常態化し、三密の回避、リモートワークなどソーシャルディスタンスが暮らしの中のスタンダードとなりました。さぽらんても、昨年3月に引き続き、4月13日から1か月余り再度閉館になりました。閉館中にスタッフミーティングを行い、感染予防、ソーシャルディスタンスを踏まえてどのようなカタチで支援をすれば、これまでと同じような成果が出せるのかということを考え、以下7つの項目の強化をしました。

□Withコロナでの7つの支援強化□

- ①相談
 - ・閉館中も、事前連絡してもらい相談には対面対応
 - ・電話やオンラインを活用
- ②講座開催
 - ・全ての講座をリモートおよびハイブリット（リモート・リアルのコンプ）で予定どおり開催
 - ・講座開催に向けてのチェックリストの作成
- ③コロナ禍における団体活動の継続
 - ・リモート会議やリモート講座の伴走支援
 - ・リモートに必要な機材の充実・貸し出し
マイクスピーカー、タブレット、広角カメラ、モニター、パーテーション、非接触体温計、モバイルWiFiなどを貸し出し用に追加購入。
- ④メンバー間のコミュニケーション強化ツールKintone導入、アプリ作成の支援
 - ・Kintoneの講座を開催するとともに、希望する団体には伴走支援を行いアプリ作成を支援
- ⑤コロナ禍での市民活動活性に向けてHP上にボランティア募集ページを新設
 - ・感染予防を徹底しながらも活動できるボランティアもたくさんあります。登録団体さんと協力しながら充実中。Instagramと連動。
- ⑥さぽらんて公式lineスタート
 - ・登録者にはボランティア情報を中心に随時発信。
- ⑦団体活動の映像発信
 - ・大学生が作成した団体や地域の活動の映像をさぽらんてyoutubeチャンネルで発信中。

新年度も、『地域を、社会を放っておけない気持ち』を応援していきます。



公式lineなどへの登録お待ちしてま〜す！



市民活動団体への活動・運営支援

■活動充実講座

- ①寄付にトライ！ファンレイジングの基礎 5団体6名参加
- ②Kintoneで事務作業を簡素化 7団体11名参加
- ③オンライン告知講座 7団体8名参加
- ④短いフレーズで思いを伝えるPOP講座 9団体12名参加
- ※①③④はオンラインで開催②はオンライン・リアル並行
すべての講座の詳細はHP上の講座レポートに掲載。



オンライン告知講座

■さぼカフェ

～地域で叶うワークライフバランスを考える～
上記をテーマに市民活動団体7団体、支援者6名が集まり、2回の円卓会議を実施。事前に子育てママに意識調査を行い地域づくりの課題と自分にできる関わりをリサーチしてから実施。地域活動に関わる様々な人の話を聞き、地域に関わるこころのなかった参加者にとっても活動を身近に感じ、自身の新たな関わりもイメージできた様子。参加者の満足度は86%と高い。



さぼカフェ

■支え人。～企業×NPOのつながりプロジェクト～

今年度もNPO法人3団体に対し、6社から135,096円の寄付
これまで5年間の寄付金合計1,521,322円
他に、テーマに対する連携企業や自動販売機設置企業4社。



支え人。贈呈式

■その他

- ①NPO伴走支援
団体の立ち上げ、助成金、ブログ立ち上げ支援などのこれまでの支援に加え、Zoom活用支援やKintone活用支援など20団体にのべ73回支援。
- ②助成金情報の発信
年度初めに、助成金情報アンケートを実施。隔月の助成金情報、毎月のメールでの助成金発信ともニーズが高いことが分かった。助成金を獲得するための補助情報も添えて発信。
拠点では、大切な財源である助成金情報を分野別、締切り月別、ビギナー向け、賃金対応に分類し、助成金カレンダーとして掲示。年間募集スケジュールも一覧にした。
- ③NPO情報発信
山口市内のNPOの財源情報を調べ、毎年蓄積。それらをまとめて、山口市内のNPOの現状を分析・発信。

インターンシップ推進事業

■大学生インターンシップによる映像作成

昨年に引き続き、さぼらんに登録している前向きな学生のインターンシップ3名による動画作成。学生自身が選び、取材、編集を行った。さぼらんにyoutubeチャンネルで発信中。

【動画作成した団体・地域】

- ①親の会カフェ～起立性調節障害の親の会～
- ②NPO法人里山ネットワーク
- ③みやの地域づくり協議会

■短期（5日間）インターンシップ受入れ

大学生や社会人などのインターンシップを9名受入れ。のべ16団体の協力を得て、18日間の受入れ実施。

市民活動への参加のきっかけづくり

平成31年度山口市まちづくりアンケートによると、市民活動やボランティア活動（NPO活動）を行っている市民の割合は全体の11.4%と少ないものの、「以前やっていた（10.1%）」「機会があればやってみよう（34.9%）」との回答は合わせると45.0%で、市民活動予備軍ともいえる潜在市民は半数近くいることが推測される。身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激し、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出するきっかけを提供した。

■ええやん新聞（主なターゲット子育て世代）

- 22号テーマ：今、私にできること
- 23号テーマ：認め合える社会へ
- 小・中学校全戸、地域回覧等30,000部発行

■活動インフォメーション

市民活動情報の中から一般市民が馴染みやすい情報を選定し、紙媒体として発行。関係各所、商店街に設置



さぼらんて

■かわら版の発行

円卓会議の内容をわかりやすく発信。

■ホームページ、SNS等

講座等のレポートを毎回掲載。登録団体のうち70団体の情報が更新された。Instagramを立ち上げ、新たな人材の巻き込みとして、学生をターゲットにして主に学生による発信で運営。

■市民活動出張展示等

市役所ロビーに写真やキャッチコピーで団体の活動が一目でわかる「市民活動紹介ポスター」などを展示。また新拠点では交流スペースが広くなったのでチラシを判りやすく分類し、気軽に情報が集められるレイアウトにした。



出張展示

■さぼらんて公式lineスタート

登録者にはボランティア情報を中心に随時発信。（表紙にQRコードを掲載）

■ホームページ上にボランティア情報フォームを新設（下段に詳細を掲載）

市民活動団体が抱える永遠の課題「人材不足」「資金不足」を解決するために、気軽にボランティア情報発信が拡散できる仕組みをつくった。

■ボランティア募集コーナーの設置

拠点入口ののりつく場所に「ボランティアコーナー」を設置し、通りすがりの市民へ向けて、ボランティアへの関心を産むきっかけをつくった。



ボランティアコーナー

今後も、「一歩踏み出すときにはさぼらんて」と思ってもらえるように気軽な雰囲気、共に考える姿勢で市民・市民活動団体に寄り添っていきたい。また、20周年を迎えるにあたり、コロナ禍の様子をみながら、気軽な交流の場を検討中。

＝登録団体向け＝
さぼらんて
ホームページから
ボランティア募集！！

ボランティアや寄付をもっと集めたいけど、なかなか手が回らず、情報発信できない団体への新サービスです。



1 さぼらんてホームページのメニュー「ボランティア募集フォーム」をクリック

募集フォームの登録

下記に登録すると、ボランティア募集登録完了メールが届きます。その後、さぼらんてでのチェックを経てボランティア募集ページに掲載されます。（トップページのボランティア募集コーナーにも掲載されます）

ボランティア募集ページに掲載します

ボランティアタイトル（※必須）
ボランティアの内容が明確に分かるもの。20字以内。
ええやん新聞の発行作業ボランティア

活動場所（※必須）
さぼらんて

ボランティアの内容（※必須）
ええやん新聞の発行作業をお手伝いいたします。

交通手段（※必須）
「自家用車可」「公共交通機関をご利用ください」

ボランティア証明書発行（※必須）
詳しくは「ボランティア活動証明書」をご覧ください。

2 フォームに情報を入力して送信！

3 さぼらんてでのチェックが済んだら...

さぼらんて
ホームページに掲載！

各団体で
プリントアウトもOK！

さぼらんて
Instagramでも発信！